

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【294】
2. 日時：令和4年10月17日 13時30分～16時35分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、植木技術参与、山浦技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他11名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（電気計装関係）について、令和4年10月11日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【燃料プール監視用カメラ（SA）の耐震性についての計算書】

- 表示（監視モニタ）（緊急時対策所）の評価に関し、監視モニタ（ノートPC）を固定する固縛用ベルトの締め付け状態の管理について、整理して説明すること。

【サブプレッションプール水温度の耐震性についての計算書】

- サプレッションチェンバに設置される機器・配管系の耐震評価に用いる震度及びスペクトルの設定方法について、整理して説明すること。

【衛星電話設備用アンテナ（中央制御室）の耐震性についての計算書】

- 解析モデルの設定に関し、リブとプレートの接続は梁要素でモデル化していることについて、考え方を説明すること。
- 応力の計算方法について、風荷重と積雪荷重を計算過程のどの時点で

付与しているのか、整理して説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし